

W32-R3762

アドバンテスト

ネットワーク・アナライザ

R3762A

使用できる機種 R3761A, R3762A

品番	GP-IBボード	価格	動作環境
W32-R3761-R	ラトックシステム製	80,000円 消費税は含まれません。	Windows 7/8.1/10 (32 or 64 bits) Excel 2007/2010/2013 2016(32bit Only)
W32-R3761-N	NI製		

R3761A,R3762Aは、アドバンテスト社の商標です。

機能



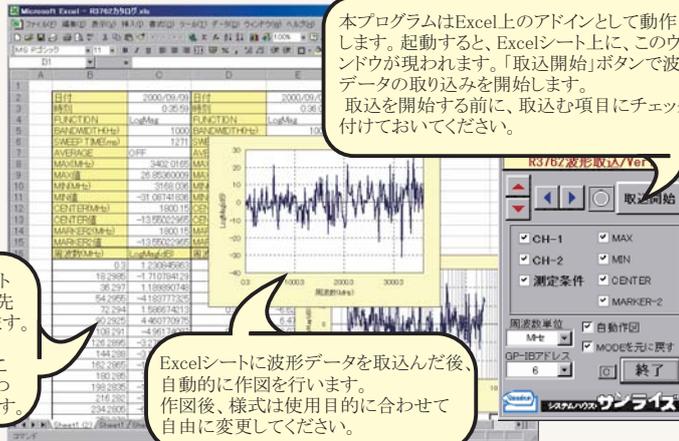
ネットワークアナライザのトレース波形をExcelシートに直接取込みます。
CH1とCH2を同時に取り込むことができます。
また、波形の「MAX値」「MIN値」「CENTER値」「マーカ2の値」を同時に取り込むこともできます。

概要

波形データは、Excelシートの現在のカーソル位置を先頭に上下方向に取込みます。(右図参)
カーソル位置を移動することにより、複数の波形を1つのExcelシートに取込みます。

Excelシートに波形データを取込んだ後、自動的に作図を行います。作図後、様式は使用目的に合わせて自由に変更してください。

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。「取込開始」ボタンで波形データの取り込みを開始します。取込を開始する前に、取込む項目にチェックを付けておいてください。



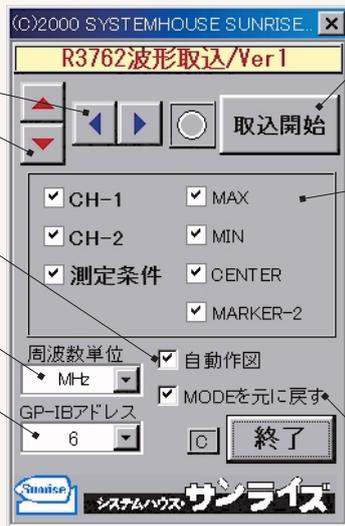
操作説明

Excelシート上のカーソルを左右/上下に移動しデータ取込開始位置を決定します。「取込開始」ボタンをクリックするとカーソル位置から下方向へデータを取込みます。

トレース波形を取込んだ後、自動的に作図を行います。

トレース波形の周波数データをExcelに取込む時の単位を指定します。

測定器本体で設定したGP-IBアドレスと同じ値を設定します。



チェックを付けた項目のデータ取込を開始します。取込を開始すると、SWEEPモードを強制的に「HOLD」に設定します。
注) 通常、周波数(X)とレベル(Y)がベアで取込まれますが、スミスチャート/ボラチャートの場合は周波数・REAL・IMAGINALの3種類のデータが取込まれ、インピーダンス等の計算は行いません。

Excelシートに取込む項目にチェックを付けます。

- ・CH-1
CH-1の波形データを取込みます。
- ・波形-2
CH-2の波形データを取込みます。
- ・測定条件
年月日、時刻、測定器ファンクション、バンド幅、平均回数、スイープ時間等の測定器の設定条件を取込みます。
- ・MAX/MIN/CENTER/MARKER-2
取込む波形のそれぞれの周波数とそのレベルを取込みます。
PHASE波形の場合、MAX値の代わりにPHASEゼロ値が取込まれます。

スイープモードが「CONTINUE」の状態を取込開始すると、取り込み中は「HOLD」に設定されますが、ここにチェックをつけると取込終了後、「CONTINUE」に戻されます。

次に「GP-IB ADDRESS」を選択し、「R3762」のGP-IBアドレスを設定します。
注)「PLOTTER」のADDRESSを設定しないようにご注意ください。

測定器右下の「LOCAL」ボタンを押して、「TALKER/LISTENER」を選択します。

